

令和3年度 国土交通大臣賞

募集締切
令和3年
6月25日
(金)

<循環のみち下水道賞>

健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、国土交通大臣表彰を行っております。

日ごろの取組みを広く発信できるこの機会に、ぜひご応募ください。

募集部門

Innovation部門

現場における創意工夫や
新技術の活用等の取組

防災・減災部門

災害対策における
ソフト・ハード面の取組

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、
事業運営、人材育成に貢献する取組

広報・教育部門

効果的な広報活動や
環境・防災教育等の取組

下水道の魅力を伝える絶好のチャンス

下水道 × ?

= 循環のみち

防災・減災

広報・教育

アセットマネジメント

循環のみち下水道賞応募について

○応募団体

以下の団体や事業者の方が対象です。

- ・地方公共団体
- ・民間事業者
- ・学校、教育機関
- ・水環境保全活動等を行っている
各種NPO、ボランティア団体、市民団体

○応募資料(提出いただくもの)

- ① 応募調書
- ② 審査様式
- ③ 審査様式補足資料 (審査様式の内容を補足する資料)
- ④ その他 (パンフレット等応募内容を説明する資料。提出は任意です。)

※ 応募資料については、募集開始以降、以下のURLに掲載します。

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000716.html

○提出方法

- ・地方公共団体の方：各地方整備局等へご提出ください。
(各地方整備局等でとりまとめた後、国土交通本省に提出されます。)
- ・民間団体等の方：事務局へ直接ご提出ください。

○応募・選定スケジュール(予定)

令和3年5月17日
募集開始

令和3年6月25日
募集締め切り

令和3年7月～8月中
選定委員会開催

令和3年9月10日
表彰式

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況に応じ、中止・延期・規模を縮小する場合があります。



大臣による授与



記念写真撮影

令和元年度表彰式 ※令和2年度は表彰式中止

事務局 (お問い合わせ先)

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道企画課 企画調整係長 板倉 舞、秋本 圭介

代表：03-5253-8111(内線34-136) 直通：03-5253-8427 E-Mail：akimoto-k26t@mlit.go.jp

第13回グランプリ

令和2年度(第13回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」

防災・減災部門

応募事例名

下水道の浸水対策によるストック効果の発現

～和田弥生幹線への貯留等により令和元年東日本台風時の浸水被害軽減に大きく貢献～

応募団体名)東京都下水道局

応募事例の概要

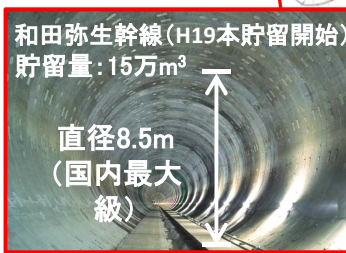
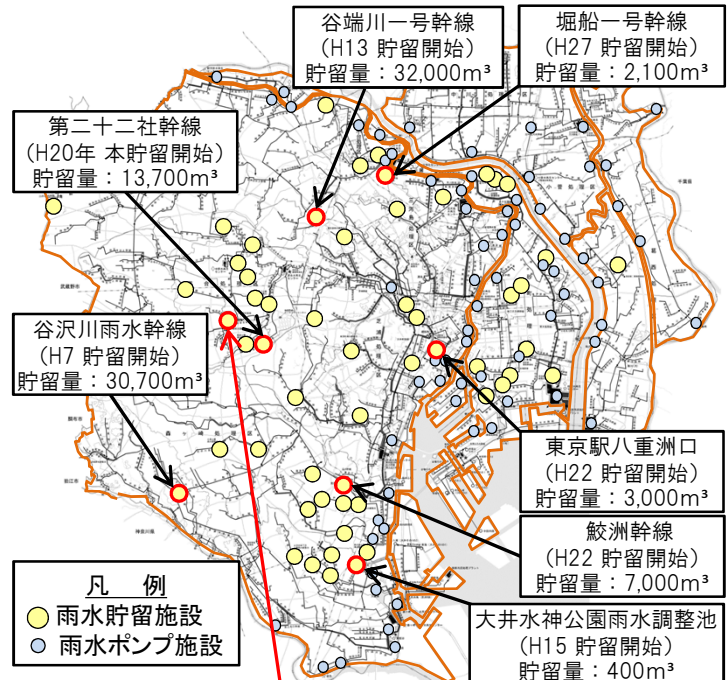
令和元年東日本台風時のストック効果

【 降 雨 状 況 】

- 全国的に大きな被害をもたらした昨年10月の令和元年東日本台風では、東京では多摩地域を中心に長時間に大量の降雨となり、**初めて大雨特別警報**が発表
- 区部においても記録的な豪雨となり、練馬区内で累計雨量348ミリ、時間最大雨量47ミリを記録

【 下 水 道 施 設 の 稼 働 状 況 】

- 東京都の区部には**56か所の雨水貯留施設**と**70か所の雨水ポンプ施設**が稼働
- 雨水貯留施設の合計容量は**約60万m³**(25mプール2,000杯分)
- 全体の**貯留率は約6割**(8か所の貯留施設(図の○)が満水)
- 雨水ポンプの合計排水能力は**毎分約11万m³**(25mプール360杯分)

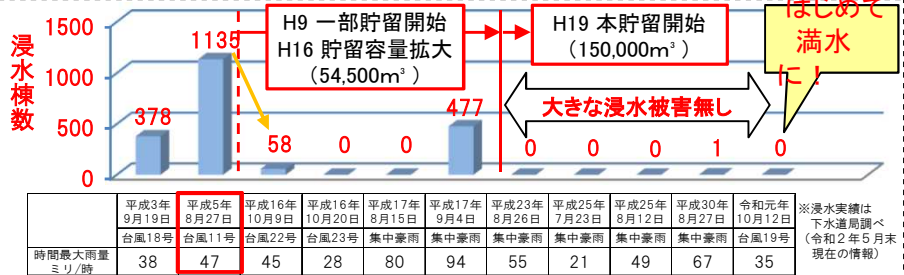


浸水被害軽減に大きく貢献

PRポイント

平成5年までは甚大な被害が発生していたが、平成19年度から本貯留を開始した**和田弥生幹線**が**昨年の台風**では整備後**はじめて満水**になり、浸水被害の軽減に大きく貢献

(右図: 和田弥生幹線の稼働状況と浸水実績)



※浸水実績は下水道局調べ(令和2年5月末現在の情報)

令和3年度（第14回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」 応募要領

1. 国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）について

「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」は、「循環のみち下水道」のコンセプトに基づく優れた取組に対し、平成20年度から毎年表彰を行っているものです。このような取組を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えとともに、他の多くの団体等でも同様の取組が行われ、全国的に「循環のみち下水道」の実現が図られることを目的としています。

過去の受賞例については、以下のURLをご覧ください。

(http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000688.html)

2. 表彰の対象

表彰は次の4部門に該当する優れた取組を対象とします。(事務局側で応募内容を判断し、応募者の了解の下、該当する部門を変更させていただく場合があります。)

(1) イノベーション部門（現場における創意工夫や新技術の活用等の取組）

下水道が有する膨大なストック、水・資源・エネルギー、経験等を活かし、地球温暖化の防止、循環型社会の構築、世界の水と衛生・環境問題の解決、国際的なビジネス展開による新たな市場の開拓等、新しい価値の創造に貢献する取組。

- (例 ・ 浄化槽汚泥、食品系廃棄物等他の地域バイオマスと連携した下水汚泥の利活用取組
- ・ 下水処理場内における消化ガス発電等により、エネルギーの自立化や地域のエネルギー拠点化を目指した取組
 - ・ 放流水中の栄養塩（窒素、リン等）の能動的な水質管理により、農業や漁業等の産業に貢献している取組
 - ・ NPO、福祉施設、商業施設、工場等と連携した下水熱や再生水、既存の下水道ストックの有効利用取組
 - ・ 下水道に関する優位技術等を活かし、新たな水関連の国際市場を開拓する取組

(2) 防災・減災部門（災害対策におけるソフト・ハード面の取組）

大規模災害（地震、津波、異常豪雨等）時においても、国民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全するため、下水道による強靱な社会の構築に貢献する取組。

- (例 ・ 近年の大雨等に対する地域の浸水被害軽減に向けた下水道整備のストック効果を最大限発揮する取組
- ・ 民間企業や住民等と連携した迅速かつ効率的な浸水対策の取組
 - ・ 下水管内水位の見える化やリスク情報の発信等の取組
 - ・ 耐震化・津波対策・浸水対策等の「ハード対策」に加えて、災害時の広域的支援体制の整備等の「ソフト対策」を組み合わせた総合的な災害対策の取組
 - ・ マンホールトイレの普及に向けた地域イベントにおける使用やICTを活用したBCPに基づく訓練等を実施している取組

(3) アセットマネジメント部門（施設の長寿命化や計画的な維持修繕、事業運営、人材育成に貢献する取組）

管理体制（人）、施設管理（モノ）、経営管理（カネ）の一体的マネジメントや人材の育成、技術力の維持・継承等により、下水道事業の持続に貢献する取組。

- (例 ・ 広域化・共同化等により下水道事業の執行体制強化につながる取組
- ・ 先進的な官民連携手法の導入や事業の経営改善により、下水道事業の運営効率化につながる取組
 - ・ 組織の枠を超えて、下水道関係職員が交流・研鑽する場を設け、課題の共有や解決を図る取組
 - ・ 若手職員への技術継承のための環境整備、組織体制の強化等の取組
 - ・ ICT・ロボット分野との連携による、下水道管きょ内調査の効率化等の生産性向上の取組（*i-Gesuido* 等）
 - ・ スtockマネジメント、BIM/CIM等の新たな建設・維持管理技術の導入等によるライフサイクルコストの低減に向けた取組

(4) 広報・教育部門（効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組）

下水道の役割、重要性、魅力、可能性等に気づき、共感し、行動してもらうための効果的な広報活動や環境・防災教育の取組。

- (例・ 路上マンホール蓋や下水処理場等の下水道施設を活用した観光客への地元アピールや下水道を身近に感じさせる取組
- ・ 環境学習を充実させる学校やNPOの取組
 - ・ 下水道事業の「見える化」に向けソーシャルメディアの活用などにより利用者に分かりやすく情報発信した取組

- ※ 過去に「循環のみち下水道賞」やその他の国土交通大臣賞（建設大臣賞）を受賞した事例については審査対象外とします。ただし、受賞時と比べて付加的な事由が存在する場合は、この限りではありません。
- ※ 下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）、下水道技術研究開発（G A I Aプロジェクト）、下水道技術海外実証（WOW TO JAPAN）、下水道応用研究に該当する取組については審査対象外とします。ただし、応募内容の一部に B-DASH プロジェクト等が含まれている場合は、この限りではありません。
- ※ 原則、応募時点で供用開始済みであることを審査対象とします。ただし、広報活動や環境・防災教育等の取組については、応募時点でその効果を発揮しているものを審査対象とします。
- ※ 令和元年度以前に整備されたもので、現在においても顕著な効果を発揮している事例についても審査対象とします。
- ※ 応募内容については、他の特許等を侵害していないこと、又は係争中でないことを条件とします。

3. 審査の方法

有識者等で構成される「循環のみち下水道賞選定委員会」において厳正な審査の上、グランプリ（最優秀賞）及び各部門賞を決定します。

4. 応募団体

本賞は、以下に挙げる団体や事業者の方を対象とします。

- ・ 地方公共団体
- ・ 民間事業者
- ・ 学校、教育機関
- ・ 水環境保全活動等を行っている各種 NPO、ボランティア団体、市民団体

5. 応募方法

(1) 応募書類

応募にあたっては、所定の応募調書等を作成の上、期日までに下記提出先に電子データで提出をお願いします（パンフレット等については書面での郵送可）。

応募書類は以下のホームページからダウンロードをお願いします。

(https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000716.html)

- ① 応募調書（別紙 3 Excel）
- ② 審査様式（別紙 4 ppt）
- ③ 審査様式補足資料（審査様式の内容を補足する資料。様式は自由ですが、A4 で 3 ページとなるよう（文字数 3000 字以内）作成ください。資料は、応募事例の背景、目的、事例の内容、具体的効果等をご記載ください。（図表や写真を載せる場合は、適宜文字数を減らしてください。）
- ④ その他（パンフレット等応募内容を証明する資料）

※①、②、③の提出は必須です。④の提出は任意です。

※循環のみち下水道賞選定委員会における審査の評価対象は、①、②、③です。

④は対象となりませんので、ご注意ください。

(2) 提出先

- ① 地方公共団体については、各地方整備局等へ提出をお願いします。
- ② 民間団体等については、直接事務局へ提出をお願いします。

6. 応募の締切り

令和 3 年 6 月 2 5 日（金）必着（厳守願います）

7. 表彰式

受賞事例については、例年 9 月 10 日〈下水道の日〉に国土交通大臣等の出席のもと、表彰を行っておりますが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の状況に応じ、中止・延期・規模を縮小する場合があります。詳細については追って公表します。

8. 事務局（応募書類の送付先、お問い合わせ先）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2 - 1 - 3

国土交通省 水管理・国土保全局

下水道部下水道企画課 企画調整係 係長 板倉 舞、秋本 圭介

代表 03-5253-8111(34-136) 直通 03-5253-8427

E-Mail : akimoto-k26t@mlit.go.jp

令和3年度(第14回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」応募調書

部門

応募案件名

* 30字程度で記載願います。(例)下水道資源循環型農業、内水ハザードマップの県内展開
* 副題付記も可能ですが、受賞した際に賞状への記載を省略する場合があります。

| | | | | |
|--|------------------------|--|------|--|
| ①応募団体 | 都道府県 市町村 企業・団体名 | ふりがな | | |
| | | * 受賞した際に賞状への記載を省略する場合があります。 | | |
| ②代表者 | 知事 市長・管理者 代表取締役等 | ふりがな | | |
| | | * 代表者に限り、受賞した際、表彰式で大臣から直接、表彰状を受け取っていただけます。 | | |
| ③担当者 | 所 属 | ふりがな | | |
| | | 氏 名 | ふりがな | |
| | 連絡先 | TEL | FAX | |
| E-mail | | | | |
| ④連名団体それぞれの取組内容について (※連名応募の場合のみ。連名が4団体以上の場合は行の追加をして下さい。) | | | | |
| 連名団体名①: | | | | |
| 取組内容: | | | | |
| 連名団体名②: | | | | |
| 取組内容: | | | | |
| 連名団体名③: | | | | |
| 取組内容: | | | | |
| ⑤過去の応募実績について (※過去に「循環のみち下水道賞」やその他の国土交通大臣賞(建設大臣賞)に応募したことがある場合のみ) | | | | |
| 応募した賞名(応募年度) | | | | |
| | | | | |
| 応募事例名 | | | | |
| | | | | |
| ⑥過去の応募事例からの付加的な取組内容について (※過去に「循環のみち下水道賞」やその他の国土交通大臣賞(建設大臣賞)に応募したことがある場合のみ) | | | | |
| | | | | |
| ⑦過去の類似表彰の受賞歴 (※ある場合のみ) ※受賞内容の分かる参考資料を添付すること。 | | | | |
| 表彰名(受賞年度) | | | | |
| | | | | |
| 表彰主催者 | | | | |
| | | | | |

●●●部門

応募事例名

●●●

応募団体名)●●●

応募事例の概要

●●● ●●●
●●● ●●●
●●● ●●●

PRポイント

功労者の
顔写真

取組みに関するエピソード

例)所属、役職
氏名